

全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。

平成28年度「全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から公表されました。また、学校には、学校全体の調査結果や調査対象である3年生の生徒の個人票が送付されました。

本校では、中学校の3年間を見通した一貫した教育の充実が大切であるとの認識のもと、学校における各学年の生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てるとともに、家庭における生徒の生活習慣、学習習慣等の充実につなげるため、調査結果を分析しました。その概要を保護者の皆様にお知らせします。

つきましては、調査結果及び分析結果をご覧ください、学校の取組に対しまして、引き続き、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。また、1年生から3年生までの全ての生徒の「頑張り」をさらに伸ばし、課題を克服できるように、各家庭での教育の充実に生かしていただきますようお願いいたします。

◆調査実施日：平成28年4月19日

◆調査対象：全国の小学校6年生・中学校3年生

◆調査内容 ①教科に関する調査 (国語・算数/数学)

・主として**知識**に関する問題 (**A問題**)

・主として**活用**に関する問題 (**B問題**)

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

・児童生徒に対する調査 (学習意欲、学習方法、生活習慣等に関する調査)

・学校に対する調査 (指導方法の工夫、教育条件の整備の状況等に関する調査)

◆調査結果の取扱いに関する配慮事項

※平成28年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領 (平成27年12月 文部科学省) から抜粋
調査結果については、調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要であることに留意し、適切に取り扱うものとする。

調査結果の公表に関しては、教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要である一方、調査により測定できるのは学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である。

1 教科に関する調査の結果 (概要)

本校の結果については、表1 (p3) のとおり、国語、数学の全ての調査内容で、全国の平均正答率を上回っています。その差は、国語Aで+0.9%、国語Bで+6.4%、数学Aで+6.1%、数学Bで+8.1%となっており、主に活用に関する問題 (B問題) で全国平均との差が大きい状況が見られます。

B問題では、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心とした問題が出題されています。

したがって、生徒たちが、各教科の授業や日常の生活において、これまで身に付けてきた知識・技能等を課題の解決に活用できないか考えたり、目的に応じて文章の内容を整理しながら読んで理解したり、自分の考えを、理由を明確にして書いて論理的に説明したりするなど、学校や家庭で意欲的に学習に取り組んでいるものと考えられます。〔「生徒質問紙調査の結果」(p3) 参照〕

一方、本校の平均正答率に着目すると、国語A（知識）は76.5%、国語B（活用）は72.9%であり、今回出題された学習内容の知識・技能やそれらを活用する力を更に身に付ける必要があります。

また、数学A（知識）については、平均正答率が68.3%であり、今回出題された学習内容の知識・技能の定着に一部課題が見られます。数学B（活用）については、平均正答率が52.2%であり、今回出題された学習内容に係る知識・技能を活用する力に課題が見られます。

（表1）各教科の調査内容の平均正答数・率

| | 国語A (33問) | | 国語B (9問) | | 数学A (36問) | | 数学B (15問) | |
|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | 平均正答数 (問) | 平均正答率 (%) | 平均正答数 (問) | 平均正答率 (%) | 平均正答数 (問) | 平均正答率 (%) | 平均正答数 (問) | 平均正答率 (%) |
| 城田中 | 25.3 ／33 | 76.5 | 6.6 ／9 | 72.9 | 24.6 ／36 | 68.3 | 7.8 ／15 | 52.2 |
| 三重県 | 24.5 ／33 | 74.4 +2.1 | 5.8 ／9 | 64.3 +8.6 | 22.4 ／36 | 62.2 +6.1 | 6.5 ／15 | 43.2 +9.0 |
| 全 国 | 25.0 ／33 | 75.6 +0.9 | 6.0 ／9 | 66.5 +6.4 | 22.4 ／36 | 62.2 +6.1 | 6.6 ／15 | 44.1 +8.1 |

※各教科の問題数は、国語Aが33問、国語Bが9問、数学Aが36問、数学Bが15問であり、平均正答数は、生徒が正解した問題数の平均値を表しています。

※平均正答率は、平均正答数を問題数で割った値を百分率で表しています。したがって、調査を実施した生徒全員が全問正解の場合、平均正答率は100%となります。

※三重県及び全国の平均正答率の各欄における「+」「-」を付けた数値は、城田中学校の平均正答率との差を表しています。

■生徒質問紙調査の結果（学習への関心・意欲・態度に関する質問項目の一部）

※数値は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合。（ ）内は本校と全国との差。

◇国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか。

城田中：86.6% 三重県：71.7% 全国：71.3% (+15.3ポイント)

◇国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。

城田中：78.8% 三重県：66.4% 全国：66.7% (+12.1ポイント)

◇数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。

城田中：59.7% 三重県：42.9% 全国：41.9% (+17.3ポイント)

◇数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。

城田中：90.4% 三重県：75.3% 全国：72.1% (+18.3ポイント)

＜今後の取組＞

今回の調査で明らかとなった生徒の「頑張り」を更に伸ばすとともに課題を克服するため、学校では、引き続き、次のような指導の充実・改善を図ります。

◆「基礎的・基本的な知識・技能の習得・定着」については、授業での「めあて」の提示や「振り返り」の時間確保、繰り返し指導や個別指導、補充的な学習活動を取り入れた指導などの充実に、引き続き、学校全体で取り組みます。また、家庭学習の内容や見届け・励ましの充実について教職員間で共通理解を図るとともに、家庭と連携して予習・復習などの学習習慣を身に付ける取組を進めます。

◆「知識・技能を活用するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成」については、「日常生活の事象の解決に、知識・技能を活用して考える指導」、「文章と図やグラフなどを関係付けて、自分の考えをまとめる指導」、「根拠を明らかにして筋道を立てて説明したり書いたりする指導」などを一層充実するため、授業での教材の工夫や指導方法の改善、グループ学習や発展的な学習の充実、少人数指導や教師間の協力的な指導の充実などの取組を進めます。

2 生徒に対する質問紙調査の結果（概要）

◇質問事項は、学習意欲、学習方法、生活習慣等に関する85項目です。

◇回答は、各質問事項について「①当てはまる」「②どちらかといえば、当てはまる」「③どちらかといえば、当てはまらない」「④当てはまらない」などの段階的な選択肢から選ぶ形になっています。

◇各質問事項に対する本校生徒の「肯定的な回答」（上記①②など）について、全国や三重県のものと比較するなどの分析を行いました。本校の特徴的な状況は、次のとおりです。

※数値は、本校の「肯定的な回答」の割合です。（ ）内の数値は、「肯定的な回答」の割合の本校と全国との差で、「+」は本校が全国を上回っていること、「-」は本校が全国を下回っていることを表しています。

○学習に対する関心・意欲・態度は、国語・数学ともに良好であり、更に身に付ける必要がある。

- ・国語の勉強は大切：92.3%（+3.2）、国語の授業の内容はよく分かる：82.7%（+8.6）
- ・数学の勉強は大切：90.4%（+9.9）、数学の授業の内容はよく分かる：76.9%（+7.5）

○言語活動に関する学習状況では、考えや意見を話したり、聞いたりすることは良好であるが、説明したり、文章に書いたりすることに課題が見られる。

- ・友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意：61.5%（+11.3）
- ・友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる：98.1%（+5.1）
- ・400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しい：69.2%（+6.4）
- ・自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい：71.2%（+8.4）

○指導方法に応じた学習状況では、授業の初めに示される目標や、授業の最後に行われる学習内容を振り返る活動は意識できているが、それらをノートに書くことに課題が見られる。

- ・授業の中で目標が示されていた：90.4%（+5.5） ・振り返る活動をよく行っていた：77.0%（+13.9）
- ・授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていた：69.3%（-7.5）

○学習習慣では、家庭での学習時間、自分で計画を立てた勉強について、全国を上回ってはいるものの課題が見られる。家での予習について課題が見られるとともに、復習については全国を上回ってはいるものの6割程度であり、更に身に付ける必要がある。読書については相当数の生徒が好きと回答している一方で図書館の活用状況は低く、読書習慣を更に身に付ける必要がある。

- ・家で1日当たり2時間以上勉強する [平日]：38.4%（+4.2）、[土日]：46.2%（+6.1）
- ・家で自分で計画を立てて勉強をしている：53.8%（+5.4）
- ・家で学校の授業の予習をしている：23.1%（-11.1）、復習をしている：61.5%（+10.5）
- ・読書は好き：88.4%（+18.5） ・昼休みや放課後、休日に図書館に週1回以上行く：11.5%（+3.9）

○学校生活では、相当数の生徒が、「学校に行くのは楽しい：100%（+18.6）」、「みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある：98.1%（+13.9）」と感じている。

○基本的生活習慣では、朝食の摂取や就寝・起床の習慣について、相当数の生徒が、良好な状況を身に付けている。一方、テレビ等の視聴、テレビゲームの実施、携帯電話やスマートホンの利用の状況がいずれも全国を上回っており課題が見られる。

- ・朝食を毎日食べる：98.1%（+4.8）
- ・毎日同じくらいの時刻に寝ている：86.5%（+11.3）、起きている：98.1%（+5.8）
- ・平日、1日当たり1時間以上、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする：80.7%（+1.4）
- 同、テレビゲームをする：65.4%（+8.3）
- 同、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする：48.0%（+0.2）

○家庭でのコミュニケーションでは、相当数の生徒が、家の人と学校での出来事について話をしている。82.7%（+8.6）

○地域との関わりでは、地域の行事への参加について全国を上回っているものの、地域社会のボランティア活動への参加については全国を下回っている。

- ・今住んでいる地域の行事に参加している：57.6%（+12.4）
- ・地域社会などでボランティア活動に参加したことがある：32.7%（-16.0）

○自尊意識では、相当数の生徒が、良好な状況を身に付けている。

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある：100%（+5.7）
- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している：84.6%（+15.0）
- ・自分には、よいところがあると思う：86.5%（+17.2）

○規範意識では、相当数の生徒が、良好な状況を身に付けている。

- ・学校の規則を守っている：98.1%（+3.4） ・人が困っているときは進んで助けている 100%（+16.2）
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う：94.2%（+0.6）
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う：100%（+7.2）